

## 令和6年度第1回学校運営協議会長情報交換会 議事録要旨

日 時 令和6年7月3日（水）9時30分～11時30分

場 所 町民センター 2Aクラブ室

出席者 出席 12名

- ・二宮小学校 池田 学校運営協議会長、和田校長
- ・一色小学校 渡邊 学校運営協議会長、橋本 地域学校協働活動推進員、中西校長
- ・山西小学校 國分 学校運営協議会長、井上 地域学校協働活動推進員、北川校長
- ・二宮中学校 石井 学校運営協議会長兼地域学校協働活動推進員、伊庭校長
- ・二宮西中学校 泉 学校運営協議会長兼地域学校協働活動推進員、藤田校長

町 7名

- ・教育長、教育部長
- ・教育指導課  
倉重教育指導課長、高谷課長代理（指導主事）、安藤指導班長（指導主事）、鈴木主任主事
- ・生涯学習課  
山下課長

欠席 1名

- ・二宮小学校 山内 地域学校協働活動推進員

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・資料1 令和6年度 第1回 二宮町学校運営協議会長等情報交換会 出席者名簿
- ・資料2 令和6年度二宮町学校運営協議会長等情報交換会 概要
- ・資料3 令和6年度 小中学校 学校運営協議会開催日程（予定）
- ・資料4 このみや学園通信 第10号～第13号
- ・参考資料1 令和5年度 第3回学校運営協議会長情報交換会 会議録（案）
- ・参考資料2 給食だより6、7月号

議事録

1 開会
2 教育長挨拶
・7月に突入し、児童生徒が登校するもの夏休みまであと12日になった。 ・各校の取り組み内容を情報交換することにより、よりよい学校運営になっていくと思う。
3 自己紹介
4 コミュニティ・スクールについて

事務局	<p>〈 資料の説明 〉</p> <p>資料 2…名称を学校運営協議会長等情報交換会とした（等を追記した）。 構成する者に、「地域学校協働活動推進員」を明記した。 次回以降は、本日出た各校の課題を共有し、議論する。</p> <p>資料 3…現時点での予定。予定が分かり次第、各校から連絡いただきたい。</p> <p>資料 4</p> <p>第 10 号…にのみや学園の取り組みについて。7 月 30 日の教育実践発表会でもその一部を詳しく説明する。</p> <p>第 11 号…社会科副読本をデジタル化した。社会だけでなく様々な教科等で活用できると期待している。</p> <p>第 12 号…にのみや学園の始業式。様々なつながりを広めていきたい。</p> <p>第 13 号…幼稚園へ行こう週間を設定した。幼稚園・保育園と小学校のつながりも大切にしていきたい。</p> <p>参考資料 2…6 月 28 日に二宮産の野菜を使った夏野菜カレーを提供した。</p>
5 情報交換（1）令和 6 年度の取組について	
事務局	各校の課題についても議論してほしい。
二宮西中	<p>〈 情報共有 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5 月 16 日の学校運営協議会で、グランドデザイン、経営方針、予算等審議をしていただいた。</li> <li>・「祭り@西中」の開催日程は 11 月 9 日（土）とし、予備日を 10 日（日）として計画している。</li> <li>→内容は、生徒によるダンス・歌などの出し物、食べ物の露店、お神輿の体験、キャンプファイヤーの予定。</li> <li>→7 月 11 日に、二宮西中地区の地区長への説明会、夏休み前に生徒会との話し合いを予定している。</li> </ul> <p>〈 課題 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会会員（以下、会員）の皆様が本業を持ちながらの参画であるため、どこまで学校の内容を理解して助言をいただけるのか不安。アドバイス等その内容が浅くなってしまうことを懸念している。</li> <li>・会員が交代する際、新たな会員の確保が課題。</li> <li>・学校運営協議会主催のイベントに人が集まらないことが課題。</li> <li>→チラシ配布の際に先生から一言添えてもらう、イベントに行くことで色々な体験ができることなど、何度も繰り返し説明することが必要。</li> <li>→チラシに、「イベントに参加しても役員になることはない」と記載しているが、なかなか集まらない。</li> </ul>
山西小	お祭り等協力できることがあれば、協力していきたい。
二宮中	〈 情報共有 〉

	<p>・「1：学習支援」「2：学校環境整備」「3：地域活動」の3つの部会がある。</p> <p>→1：定期テスト2週間前の学習相談に加え、今年度より新たに夏休みの最初と最後の1週間に学習相談の日程を設ける。</p> <p>→2：夏休み中に1回、学校の廊下の柱カバーの修繕を行う。今年度より新たに教職員と地域との施設点検を実施した。</p> <p>    防災をテーマとしているPTAと連携して防災イベントを一緒に行う予定。</p> <p>→3：文化祭・体育祭のお手伝いをする、マルシェへの生徒の参加募集等を行う。</p> <p>〈課題〉</p> <p>【二宮中課題1】地域の方と学校を繋げた後に、地域学校協働活動推進員（以下、推進員）はどう関わっていくのか。</p> <p>【二宮中課題2】社会科の授業での語り部による「戦争の体験」について、学校の授業なので仕方ない部分があるかもしれないが、地域として聞いておきたい事、知っておくべきこともあるので、生徒だけで終わらせたくないと感じた。</p>
一色小	<p>【二宮中課題1】</p> <p>→推進員の役割と責任が不明瞭である点が課題であると捉えている。二宮中の課題の一方で、地域の方と推進員が直接やり取りすると、先生方が地域について知る機会がなくなってしまう課題もある。どのように、バランスを取るかが難しい。</p> <p>→地域学校協働活動推進員の名称が地域に認知されていない。そのため、「地域と学校をつなぐコーディネーター」と言っている。</p>
一色小	<p>【二宮中課題2】</p> <p>→イベントの際に、誰の名前で主催をするのかによって手続きが変わってくる。</p>
二宮小	→会長経由で校長先生に提案をあげて、フィードバックしてもらえばよいのではないか。
二宮中	→学校長だけではなく、教職員との調整が必要。教職員の理解を得て、巻き込んで物事を進めていく必要がある。企画会議、職員会議等通さなければいけないので、時間はかかる。
二宮小	→校長先生に持って行ってから、どのくらい期間がかかるのか。
二宮中	→月初めに企画会議、その2週間後に職員会議を行っている。イベントによっては、行事予定の関係もあり、学校で対応しきれないものもあるので、年度当初にご提案いただくと学校としてはありがたい。
一色小	→学校運営協議会主催の場合には、委員の同意が必要になり、年間で設定している協議会の開催日程に合わせる必要があるため、年度当初に計画しておくことが現実的である。
二宮中	<p>〈情報共有〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙資料は、着任後3年間での実績をまとめたものである。この情報交換会で小学校のボランティア活動の情報をいただいているので、そこからヒントを得て、部会についてはバージョンアップできている。</li> <li>・小中交流の面でも、例えば夏休み放課後子ども教室へ中学生が講師として参加する等、発展させることができた。</li> </ul>

	<p>〈 課題 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の主旨が2つあって、1つ目がなかなか上手くいっていない。 →1：学校の教育課程、施設整備に関する事を協議する場。 →2：深く協議するために部会を作り地域の方に入って学校をより深く知っていただく。</li> <li>・文部科学省が地域とともにある学校運営に欠かせない機能として「熟議」と「協働」というキーワードを掲げているが、熟議の部分がなかなか難しい。</li> </ul>
一色小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つ目の課題の「熟議があまりできていない」をもう少し詳しく教えていただきたい。</li> </ul>
二宮中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回の学校運営協議会で予算編成や教育課程等の承認を得ているが、学校は4月1日からスタートしている。第1回目の学校運営協議会は実際に各校では4月末から5月に行われているのではないか。</li> <li>・人事についても教育委員会に意見を申し出ることができるとなっているが、実際にはなかなか難しい。</li> </ul>
二宮小	<p>〈 情報共有 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創立150周年事業を学校PTAと連携して盛大に行うことが出来た。</li> <li>・放課後子ども教室は、地域のサポーターの皆様には十分にご協力を得ることが出来ており、感謝している。今後は、他の学校を含めた活動に広げていきたい。そこで何をすることが大事。</li> <li>・旗振りがボランティアになっているが、一定数の方はご協力いただいている。今後は、旗振りや児童への指導を強化していく。</li> <li>・「学びふれあい部会」が6月28日に行われた。</li> <li>・令和元年度に人材バンクを立ち上げたが、コロナ禍になり機能していなかったが、その時に登録していただいたメンバーが参加している。</li> <li>・放課後子ども教室での児童への質問コーナー（質問を受け、次回までに部員の方が資料を用意する）を今年度も引き続き行う。</li> <li>・校外学習の見守り（付添い）を2年生の吾妻山に行った際に行った。</li> <li>・二宮中学校運営協議会学習支援部会との連携を計画している。</li> </ul> <p>〈 問題点 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2年生の登校時間が遅れていることが心配。</li> <li>・旗振りについて、WEB予約システムが機能していないが、ボランティアで協力いただいている方がいるので、予約システムは必要ないのか。</li> <li>・放課後子ども教室において、民間の伝える側の方をどのように募っていけばよいのか。</li> <li>・部会をどのように発展させていくのか。</li> </ul>
一色小	<p>〈 情報共有 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を行う際に、地域の方に多く参加してもらいたい一方で、不特定多数の参加が心配</li> </ul>

	<p>だった。</p> <p>→見守りをを行っている人たちに対して、名前付きのタグを作り、見守りの際に付けてもらった。</p> <p>→校長先生にもご協力いただき、対象となる人の合意を取った上で、名簿を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で名簿を管理することができたことが一つの大きな成果。</li> <li>・毎年学校からの依頼事項が定例化してきている。1学期では、(1年生：ICT支援員がタブレットのサポート、2年生：町探検、野菜作りの際にトマト名人が入る、3年生：カブトムシ名人が入る、4年生：図工で使う段ボール集め、5年生：田んぼのサポート、6年生：国語でインタビューする地域の方を探す)。</li> <li>・学年が変わり新しい先生になった時に、引き継いでくれていることがありがたい。そのおかげで、推進員に声をかけるハードルが下がっていると感じる。</li> <li>・スマイルルームを定期的に開放しているが、サポーターが活動できる場所があることもありがたい点。</li> <li>・9月に、第3回の一色スマイルアート展を開催する。学校だけでなく、地域の方の作品発表の場でもある。二宮高校からも作品をいただいている。昨年度は、二宮中、二宮西中からステンドグラスをお借りして、子ども達から人気のイベントになっている。</li> <li>・メンバーもそれぞれ都合があるので同じようには出来ないが、目標をみんなで共有しながら、それぞれが当事者意識を持ってやっていくことが必要だと感じている。</li> </ul> <p>〈 課題 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模な学校のため、サポーターの人数が多すぎると困ることもある。すごくやりたい方々で間に合ってしまう。</li> <li>・新しい方を紹介いただいた際には、マニュアル作りや研修などもやっていきたいと思っている。</li> <li>・子どもたちがコミュニティ・スクールとなっていることを知らなかった。</li> </ul>
山西小	<p>〈 情報共有 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りをしている方々にお礼をして欲しいという話があったが、誰が参画しているか分からないので、これから整理していく予定。</li> <li>・職員室で推進員の座席を用意していただき、先生方に挨拶する機会ができた。</li> <li>・広報活動について、学校ホームページや学校だよりを作成しているが、学級担任が作成する学級だよりのなかで学校ホームページのQRコードを載せるなどして、地域の方々にも学校活動を垣間見ていただけるようにしている。</li> </ul> <p>〈 課題 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山西小学校区だけでは、サポートしていただく方が少ない。</li> <li>→まずは、保護者から増やしていくために、保護者を対象にしたボランティア募集の通知を行った。10件、11人の応募があり、成果になったかと思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進員の認知度が低く、保護者との連絡の際にもお互いに不安があった。 →校長先生にお願いして、最初の連絡は学校の電話を使うことになった。</li> <li>・地域で学校を支えるということを地域の方に分かってほしい。以前のように時間のある方が学校を支えるという形ではなくなってきている。</li> <li>・保護者と学校のつながりは、一般住民よりは濃いですが、学校を支える応援団という視点では、お互いに分かり合えていない部分があると感じる。 →PTA協議会や感謝の会等で公開し、説明の機会を増やしていく。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会、推進員の認知が広がっていないために、人材募集に苦勞されているという話があったので、第2回、3回では、「認知度をあげるためにはどうしたらよいか」というテーマはどうか。</li> </ul>
一色小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールが始まってから6,7年経過している。一方で、なぜコミュニティ・スクールになっているのか等、根本的な点も含めてアピールしてほしい。</li> </ul>
事務局	<p>〈 次回について 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に上記案を出し、協議していただく。(議案については1ヶ月前くらいに周知する)</li> <li>・コミュニティ・スクール導入部分の説明もする。</li> <li>・次回の開催日は、11月19日(火)。</li> <li>・議事録は、皆様にご確認いただきますので、ご協力のほどお願いいたします。</li> </ul>
	閉会